資料６　令和３年度第２回連携会議

やまなし建設産業担い手確保・育成アクションプラン
（改定版）案

令和４年　月

建設産業担い手確保・育成産学官連携会議

（山梨県県土整備部）

Ⅰ　アクションプランの策定趣旨

建設産業はインフラの整備や老朽対策の維持管理、多発する災害に対する防災・減災・強靱化や復旧など、県民生活の安全安心を支える地域の守り手としの役割を担っているが、その体制を維持し健全に発展するためには、担い手の確保、特に若手の担い手の確保が課題となっている。

このため、産学官が連携し、県内建設産業の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、「地域の守り手」である建設産業の健全な発展を図るための若手の担い手確保を目的とした「建設産業の魅力を伝える」施策と「建設産業の魅力を高める」施策などにより構成される「やまなし建設産業担い手確保・育成アクションプラン」を策定した。

Ⅱ　計画期間

計画期間は令和３年度から令和５年度までとする。

Ⅲ　施策項目

１　建設産業の魅力を伝える

①建設産業のイメージアップ

〇キャリア教育への参加

（１）職業講話等参加企業と学校のマッチング

（２）小中学生に対する出前講座、インフラ見学会の実施

（３）普通科等の生徒に対する建設産業説明会の開催

〇建設産業の情報発信

（４）中学生向け・高校生向けパンフレットの作成・配付

（５）インフラ施設の魅力発信（富士の国やまなしインフラガイドの土木遺産の情報発信など）

②若手技術者の確保

〇建設学科・系列学生の入職促進

（６）ＩＣＴ施工体験学習会等の開催

（７）インターンシップ、若手技術者と高校生との意見交換会の実施

（８）学科・系列の生徒に対する建設産業説明会の開催

（９）若手経営者と高校生との意見交換会の実施

（10）女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

〇建設産業の情報発信

（11）インスタグラム（県土やまなし未来づくり）、ユースバンクやまなしによる県内外進学者、若手技術者等へのアプローチ

２　建設産業の魅力を高める

①　就労環境の改善等による離職防止

（12）若手技術者会議の開催

（13）週休二日制の促進

②　女性活躍の推進

（14）女性技術者活躍推進会議の開催

【再掲】（10）女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

３　産学官の連携強化

（15）建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催

Ⅳ　施策の内容

１ 建設産業の魅力を伝える

①建設産業のイメージアップ

○キャリア教育への参加

施策番号･名	（１）　職業講話等参加企業と学校のマッチング
施策内容	：児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため､県が主体となって職業講話等における各団体と教育現場とのマッチング･連絡調整 ：職業講話参加企業の募集 → 参加企業一覧表の作成 → 公立小中学校長会支部会で説明・中学校へ周知
施策対象	中学生
■継続　□ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割　産	職業講話等参加企業の募集及び参加促進
産学官の役割　学	職業講話への助言
産学官の役割　官	参加企業の整理、公立小中学校長会支部会での説明・一覧表の配付、連絡調整

施策スケジュール

【備考】

Ｒ３年度
　測量体験学習会　（測量設計協会）　中学校１校

Ｒ４年度
　職業講話（中学校）

施策番号･名	（２） 小中学生に対する出前講座、インフラ見学会の実施

施策内容：児童・生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、環境整備活動を含む出前講座及びインフラ見学会の実施

【出前講座】・じどう車くらべ：小学校（建設業協会）　建機・道路パトロール車

・私の学校はここにあるプロジェクト：小中学校（測量設計協会）　経緯度標を測量

《環境整備活動を含む出前講座》

・補修[軽微なコンクリートの補修や側溝の手直し等：小中学校（建設業協会）

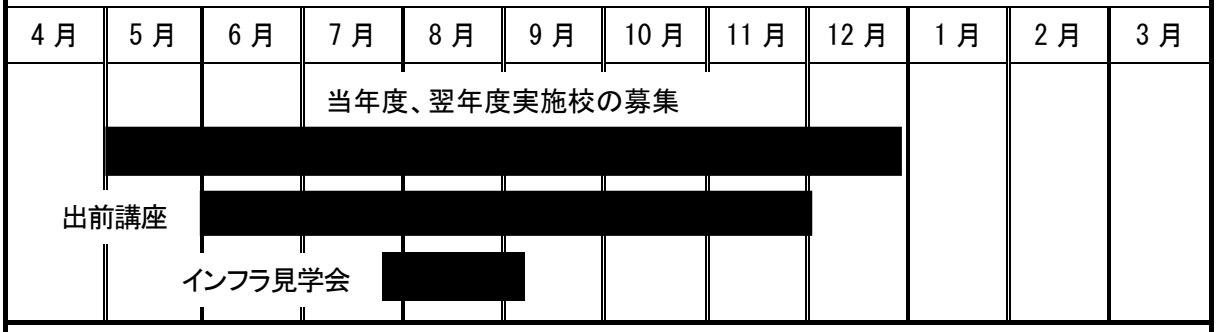
・校庭の樹木剪定：中学校　芝生整備：小学校（造園建設業協会）

※令和３年度に令和４年度の実施校を募集

【インフラ見学会】　ダムなど親子見学会　夏休み等　現地集合現地解散

施策対象	小中学生
■ 継続　□ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割　産	応募校との調整・実施
産学官の役割　学	出前講座、インフラ見学会への助言
産学官の役割　官	インフラ見学先の選定、公立小中学校長会各支部での募集

施策スケジュール



【備考】

Ｒ３年度

・じどう車くらべ　小学校６校　（建設業協会）

・私の学校はここにあるプロジェクト　小学校２校　（測量設計協会）

・砂場の砂入れ替え　小学校２校　（建設業協会）

・樹木医の講義・剪定作業　中学校１校　（造園建設業協会）

Ｒ４年度

・じどう車くらべ　小学校　（建設業協会）

・私の学校はここにあるプロジェクト　小中学校　（測量設計協会）

・補修など　小中学校　（建設業協会）

・樹木医の講義・剪定作業　中学校　（造園建設業協会）

・インフラ見学会　ダムなど親子見学会　２回

施策番号名	（３）普通科等の生徒に対する建設産業説明会の開催

施策内容：インフラの整備・維持や災害復旧など地域の守り手としての重要な役割を担う建設産業の魅力や現状を知ってもらう機会として、普通科等を対象に建設産業説明会を開催

施策対象		青洲高校、都留興譲館高校、北杜高校、笛吹高校、城西高校を想定
□ 継続　□ 拡充　■ 新規		
主　体		県、建設産業関係団体、県教委
産学官の役割	産	説明内容の検討、講師の人選
	学	説明会の機会確保、開催時期
	官	業界団体・学校との調整、講師の人選

施策スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				開催日程･説明者等の調整、説明会開催							

【備考】

Ｒ４年度

建設産業説明会：想定５校で開催

○建設産業の情報発信

施策番号･名	（４） 中学生向け・高校生向けパンフレットの作成・配付

施策内容：中学生向けパンフレット

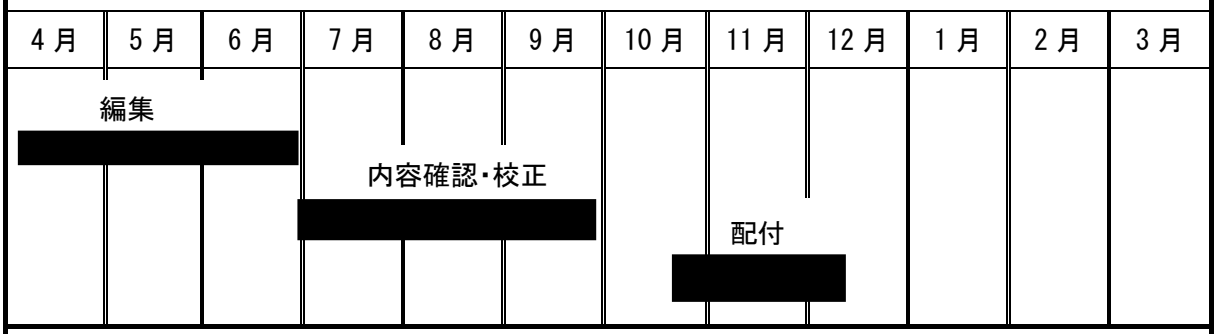
生徒が建設産業を知る機会を増やすとともに、建設産業のイメージアップを図るため、中学生・保護者・進路指教員に対する建設業就職・進学パンフ（建設産業の役割・やりがい等）の作成・配付

：高校生向けパンフレット

普通科等の高校生が建設産業を知る機会を増やすため、建設系学部・学校進学に係る建設産業の現状、キャリアイメージなどを記載したパンフレットの作成・配付

施策対象		主に中学２年生・高校２年生
■ 継続　□ 拡充　□ 新規		
主　体		主体：県、建設産業関係団体、高校
産学官の役割	産	内容への意見、情報・素材の提供
	学	内容への意見、情報・素材の提供、配付・周知への協力
	官	編集、印刷、配付

施策スケジュール



【備考】

Ｒ３年度

中学生向けパンフ：県内中学校の２年生に配付　印刷数８，０００部（１１月配付）
（内容）建設の学科・系列校紹介、建設産業の役割・やりがい、取得資格、
進学先・就職先など

高校生向けパンフ：県内高校の２年生に配付　印刷数８，０００部（１１月配付）
（内容）建設産業の現状や未来、進学からつながるしごと（総合建設業、測量・設計、
建設コンサルタント、行政等）、現役技術者インタビューなど

施策番号名	（５）インフラ施設の魅力発信（富士の国やまなしインフラガイドの土木遺産の情報発信など）

施策内容：富士の国やまなしインフラガイド（HP）によりインフラ施設の魅力を情報発信
土木遺産に係わる動画の作成・やまなしインフラカードの配布
富士の国やまなしインフラガイド（リーフレット）の配布　など

施策対象		小中学生、高校生、大学生、若手技術者
■ 継続　□ 拡充　□ 新規		
主　体		県
産学官の役割	産	
	学	
	官	インフラ施設の情報発信・インフラガイド、カード等を配布など

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
				カード・リーフレット配布							
[redacted]											
					HP 公開						
[redacted]											
								土木遺産講会			
								[redacted]			

Ｒ３年度
・富士の国やまなしインフラガイド（ＨＰ）の情報更新
・富士の国やまなしインフラガイド　社会学習版　9,500 部発行　小学生対象に配付
・富士の国やまなしインフラガイド（リーフレット）　高校生への建設産業説明等で配付
・土木遺産講演会の開催及びその動画の情報発信
・インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」の開設・運営

Ｒ４年度
・富士の国やまなしインフラガイド（ＨＰ）の情報更新
・やまなしインフラカードの配布　全２７種類　プレミアムカード３種類
・富士の国やまなしインフラガイド　社会学習版　配付（小学生等）
・富士の国やまなしインフラガイド（リーフレット）　高校生への建設産業説明（９回）等で配付
・土木遺産講演会の開催及びその動画の情報発信
・インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」の運営

②若手技術者の確保
〇建設学科･系列学生の入職促進

施策番号･名	（６）ＩＣＴ施工体験学習会等の開催
施策内容：ＩＣＴを活用した施工技術など、座学や実習では目にすることのないできない最新のダイナミックなものづくりなどを見学・体験してもらい、建設産業の仕事への関心をさらに高め、生徒の入職意欲を喚起	
施策対象	建設の学科・系列生徒
■ 継続　□ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体、県教委
産学官の役割　産	見学先工事現場の確保、学習会の構成検討
産学官の役割　学	参加機会の確保
産学官の役割　官	見学先工事現場の確保、業界団体・学校との調整

施策スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
[redacted]				開催日程･説明者等の調整							
				ICT施工体験学習会等の開催							
			[redacted]								

【備考】

Ｒ３年度
　サイドガーデニング製作実習、生垣講習会（造園建設業協会）農林高校
　建設現場見学会（山梨県産業技術センター新築工事現場）
　　甲府工業建築科、富士北稜建築デザイン科
Ｒ４年度
　ＩＣＴ体験学習会など

施策番号･名	（７）インターンシップ、若手技術者と高校生との意見交換会の実施

施策内容：自分が働く姿を具体的にイメージしてもらうとともに、仕事に対する不安や疑問点などの解消を図る

：２回目のインターンシップ

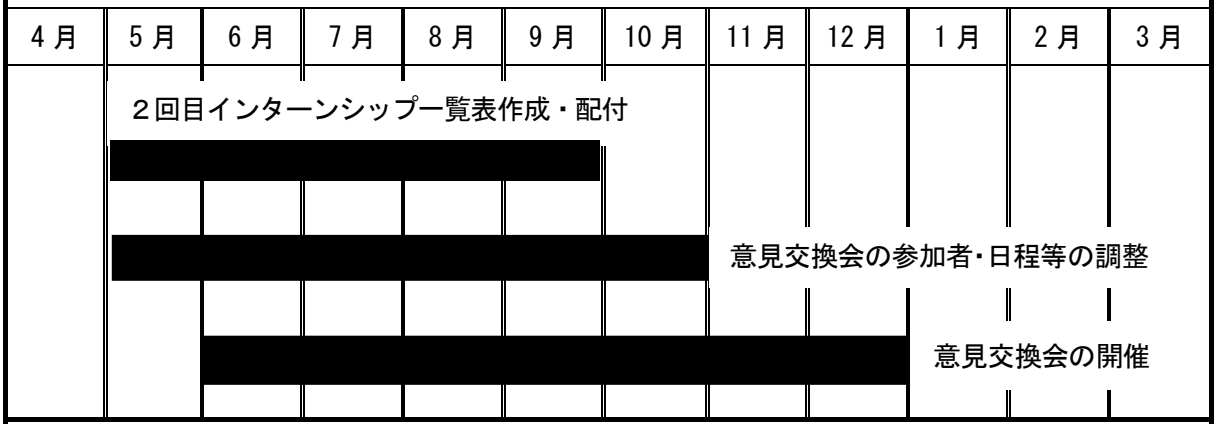
・冬休み、春休みのインターンシップ支援（任意実習、１日程度）の参加支援

・受入企業の募集 → 受入企業一覧表の作成 → 建設の学科・系列へ配付

：若手技術者との意見交換会の開催

施策対象		建設の学科・系列生徒
□ 継続　■ 拡充　□ 新規		
主　体		県、建設産業関係団体、県教委
産学官の役割	産	インターンシップ先の確保、意見交換会の構成検討、参加若手技術者の人選
	学	説明会の機会確保、開催時期・説明会の構成検討
	官	業界団体・学校との調整

施策スケジュール



【備考】

Ｒ３年度

意見交換会　甲府工業

施策番号･名	（８） 学科・系列の生徒に対する建設産業説明会の開催

施策内容：一括募集の工業科や総合学科の生徒たちの建設産業の仕事への関心を高め、建設の学科・系列を選択してもらうため、建設産業説明会を開催する。進路選択前後の高校１年次において説明会を開催し、建設産業が担う役割の重要性ややりがい、ＩＣＴ等を活用した現場の生産性・安全性の向上などの現在の姿を伝え、建設産業で働く魅力を伝える。

施策対象		青洲高校・都留興譲館高校の工業科、北杜高校・笛吹高校・富士北稜高校の総合学科、甲府工業高校定時制の主に１年生
■ 継続　□ 拡充　新規		
主　体		県、建設産業関係団体、県教委
産学官の役割	産	説明内容の検討、参加者（説明者）の人選
	学	説明会の機会確保、開催時期・説明会の構成検討
	官	業界団体・学校との調整

施策スケジュール

【備考】

Ｒ３年度

説明会：青洲（５月）、甲府工業定時制・富士北稜（７月）、都留興譲館（１０月）、北杜（１２月）、・笛吹（１１月）

Ｒ４年度

説明会：対象６校で開催

施策番号名	（９）若手経営者と高校生との意見交換会の実施

施策内容：建設産業の魅力や現状をより深く知ってもらい身近に感じてもらう機会として、建設の学科・系列の生徒と建設業の若手経営者とのとの座談会方式での意見交換会を開催

施策対象	甲府工業建築科、甲府工業土木科、農林環境土木科・造園緑地科、青洲土木工学科の２・３年生

☐ 継続　☐ 拡充　■ 新規

主　体	県、建設産業関係団体、県教委
産学官の役割　産	意見交換会の内容検討、講師の人選
産学官の役割　学	説明会の機会確保、開催時期
産学官の役割　官	業界団体・学校との調整

施策スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						意見交換会の開催日程･説明者等の調整					
						意見交換会開催					

【備考】

Ｒ４年度

意見交換会：４回開催

施策番号･名	（１０） 女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

施策内容：建設の学科・系列の女子生徒に、女性が活躍している現場・職場があることを認識してもらい、建設関係への入職や進学促進を図るため、現役女性技術者等との座談会方式での意見交換会を開催

施策対象		甲府工業建築科、甲府工業土木科、農林環境土木科・造園緑地科
□ 継続　■ 拡充　□ 新規		
主　体		建設産業関係団体、県教委
産学官の役割	産	けんせつ小町甲斐メンバーの参加、交換会での意見を協会内企業で共有
	学	建設学科・系列生徒の参加者の募集
	官	けんせつ小町甲斐メンバーの参加

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
						意見交換会の開催日程･説明者等の調整					
									意見交換会開催		

【備考】

Ｒ３年度
　意見交換会：３回開催

Ｒ４年度
　意見交換会：３回開催

○建設産業の情報発信

施策番号･名	（１１）インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」、ユースバンクやまなしによる県内外進学者、若手技術者等へのアプローチ

施策内容：インスタグラム「県土やまなし未来づくり【公式】」の運用

県内外の大学生･専門学校生や高校生などに県内のインフラ施設や建設産業の魅力、社会的役割などを知ってもらい、興味や関心につなげるため、産学官の連携によるインスタグラムを運営

：ユースバンクやまなしの活用

県外に進学しても県内就職に関する情報を提供できるようにするため、ユースバンクやまなし等を活用した情報発信を行う。就職説明会等の情報を伝え、Ｕターン就職を希望する学生が建設産業への入職を考えるきっかけ作りを推進

施策対象	県内外大学・短大・専門学校進学者・若手技術者・高校生等
□ 継続　■ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割　産	インスタグラムの周知・情報提供、ユースバンクやまなしへの登録情報収集
産学官の役割　学	学生・生徒への周知協力、ユースバンクやまなしへの登録促進
産学官の役割　官	インスタグラム公式アカウント・管理、情報掲載、周知 ユースバンクやまなしへの情報発信依頼

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
インスタグラム周知											
[redacted]				インスタグラムの運用							
[redacted]											
			ユースバンクやまなしによる情報発信								
[redacted]											

【備考】

ユースバンクやまなし　県内就職に役立つ情報（就職説明会、インターンシップ、就職イベント等）をメール配信、登録数：約 3,000 人（県内外大学等進学者）

２ 建設産業の魅力を高める
①就労環境の改善等による離職防止

施策番号･名	（１２） 若手技術者会議の開催
施策内容	：就労環境の改善等による若手技術者の離職防止を図るため、入職４～８年目の若手技術者をメンバーとする「若手技術者会議」を産学官連携会議の部門会議として設置し、若手技術者の離職防止に向けた課題抽出・改善の方向性を検討 ：企業や会社の枠を超えて若手入職者同士の横のつながりを構築し、モチベーション向上を図るため、次の取り組みを展開 ・若手技術者組織の設立 ・新規入職者向けのフォローアップ意見交換会の開催 入職1～2年目の入職者同士が仕事上の悩みや不安を話し合う意見交換会の開催 ・やまなし技術者スピリッツ（仮称）の作成（県 HP 等掲載） ・インスタグラム（県土やまなし未来づくり）への参加
施策対象	若手技術者、関係団体、企業
□ 継続 ■ 拡充 □ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割 産	メンバー募集、制度設計・運営支援、技術支援
産学官の役割 学	生徒へのやまなし技術者スピリッツ（仮称）の周知
産学官の役割 官	制度設計・運営支援、技術職員の参加

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
メンバーの選定等				●会議開催①				●会議開催②			
						●意見交換会開催					
			若手組織の設立、やまなし技術者スピリッツ(仮称)の作成								

【備考】

Ｒ３年度
　会議：２回開催

Ｒ４年度
　会議：２回開催

施策番号･名	（１３） 週休二日制の促進

施策内容：建設業の職場に抱かれやすい 3K（きつい・きたいない・危険）の「きつい」というイメージを払拭し長時間労働の是正を図るため、週休二日制を促進
：県の発注工事において、週休二日制モデル工事を実施

施策対象	企業
■ 継続　□ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割　産	働き方改革の推進
産学官の役割　学	
産学官の役割　官	週休二日制モデル工事の実施

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
週休二日制受注者希望型工事の運用（原則、設計金額が1千万以上1億円未満の工事）											
[redacted]											

【備考】

ＩＴＣ、テレワーク、ＤＸの推進

②女性活躍の推進

施策番号･名	（１４） 女性技術者活躍推進会議の開催
施策内容：女性技術者の活躍推進を図るため、女性技術者や高校の建設の学科・系列女性教員をメンバーとする「女性技術者活躍推進会議」を産学官連携会議の部門会議として設置し、女性技術者が働きやすい環境の整備に向けた課題抽出・改善の方向性を検討 ・ライフステージに応じた良好な取組事例の収集・情報共有 ・女性が活躍できる分野のアピール ⇒ 女性の活躍事例のＰＲ（建設産業説明会、パンフレット掲載など） ・柔軟な現場代理人制度の検討 ・ベテランの若手指導者の指導方法についてノウハウの共有を検討 ・若手技術者組織への参加 ・やまなし技術者スピリッツ（仮称）への参加 ・インスタグラム（県土やまなし未来づくり）への参加	
施策対象	女性技術者、関係団体、企業
□ 継続　■ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体
産学官の役割　産	けんせつ小町甲斐のメンバー参加、検討内容等を協会内企業に情報提供
産学官の役割　学	女性教員の参加
産学官の役割　官	けんせつ小町甲斐のメンバー参加、建設業対策室事務局

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
メンバーの選定等				●会議の開催①				●会議の開催②			
	良好な取組事例収集･周知、やまなし技術者スピリッツ（仮称）への参加など										

【備考】

Ｒ３年度　会議：２回開催

Ｒ４年度　会議：２回開催

【再掲】

施策番号･名	（１０） 女性技術者と女子生徒との意見交換会の開催

３ 産学官の連携強化

施策番号･名	（１５） 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議の開催
施策内容：若手の担い手確保・定着を図るため、産学官の機関がより一層連携を強化し、一体となって担い手確保の現状や課題等を情報共有するとともに、現行実施している取り組みの効果を検証し、より効果的な取り組みを継続的に展開 ：建設産業担い手確保・育成アクションプランの検証・改定	
施策対象	産学官
■ 継続　□ 拡充　□ 新規	
主　体	県、建設産業関係団体、県教委等
産学官の役割　産	内外との連携強化
産学官の役割　学	内外との連携強化
産学官の役割　官	内外との連携強化

施策スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
					●連携会議① 適宜書面協議						●連携会議②
		[redacted]									

【備考】

Ｒ３年度
　会議：２回開催

Ｒ４年度
　会議：２回開催